

「第2回TRIZシンポジウム」への参加のご案内 (更新版)

2006年6月2日(追記: 2006.6.14) (更新: 2006.8.5)

日本TRIZ協議会

第2回TRIZシンポジウム

プログラム委員長

中川 徹 (大阪学院大学)

創造的な技術革新の技法「TRIZ」について、広く発表・討論・交流するために、このたび、「日本TRIZ協議会」が主催して、第2回の「TRIZシンポジウム」を開催いたします。発表を公募いたしました結果、国内および海外から、前回は大幅に上回る多数の発表申込みをいただき、下記のように充実したプログラムとなりました。つきましては、企業・大学・その他の組織でTRIZを導入・推進・適用などを試みておられる皆様に、ぜひ奮ってご参加いただきたくご案内いたします。多数の発表と質疑応答、また、多くの仲間の人たちや海外の人たちとの討論と交流を通じて、新しい考えと実践する力を得ていただけるものと信じます。

記

1. 第2回TRIZシンポジウムの概要

日時: 2006年8月31日(木) 午後1時 ~ 9月2日(土) 午後4時 [2日半]

会場: 大阪府吹田市 パナヒルズ大阪 (松下電器健康保健組合の保養所)
565-0802 大阪府吹田市青葉丘南 10-1 Tel. 06-6877-0111

主催: 日本TRIZ協議会

趣旨: 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野の発展・普及・推進を図る。
TRIZに関心をもつ人々が一堂に会する場を作る。
発表・討論・展示・交流などを通じて、相互の理解と実践の向上を図る。
日本国内だけでなく、海外からも発表・参加を得て、世界に開かれたものにする。

特徴: 日本のTRIZ関係者のほとんどが一堂に会します。
企業ユーザ、研究者・教育者、ベンダー、コンサルタントなどすべてが集まります。
世界のTRIZリーダたち数人を含め、海外からも参加・発表があります。
基調講演・特別講演・解説(各60分)を合計5件招待しています。
一般応募のうちの計16件を発表・討論(各40分)します(一部はダブルトラック)。
ポスター発表のセッション(2回、計12件)では、発表者とじっくり討論下さい。

発表（ポスター除く）に際しては、日本語と英語のスライドを並行投影します。
休憩・食事時間、カクテルパーティ、交流会などで自由に活発な討論をお願いします。
親密な交流には泊まり込みをお勧めします（自宅/ホテルからの通いも可能です）。
昨年よりも一層多彩に幅広く、また充実した内容になっております。

2. プログラムの概要と形態

プログラムの概要

プログラムの概要 図表: 別紙 1 参照 (更新)。

プログラムの明細 (時間、著者、題目の一覧表): 別紙 2 参照 (更新)

プログラムの 発表内容の紹介 (著者、題目、発表概要 (申込み順の一覧)): 別紙 3 参照 (更新)。

各セッションの企画と形態:

(a) 挨拶: (1) TRIZ シンポジウムについて、(2) 日本 TRIZ 協議会について

(b) 基調講演 2 件、特別講演 2 件、解説 1 件。各 60 分。スライドは日・英同時並行投影。

- 基調講演 1: 「WOIS (矛盾指向の技術革新戦略) による製品とプロセス開発を統合した技術革新」

Hansjuergen Linde 教授、Gunthre Herr 博 (ドイツ、WOIS Institute Coburg) (1980 年代半ば以来、TRIZ を独自に体系づけ適用してきた)

- 基調講演 2: 「構造化問題解決の諸方法論 (ASIT、TRIZ、USIT など) を基礎づけるやさしい理論」

Ed. Sickafus 博士 (米国、Ntelleck 社) (USIT の開発者)

- 特別講演 1: 「ブレイクスルー思考のすすめ ~ 物真似からの脱却 ~」
日比野省三教授 (中京大学) (ブレイクスルー思考の共同開発者)

- 特別講演 2: 「経営に TRIZ を如何に活用すべきか?」

山口和也氏 (パナソニックコミュニケーションズ(株)) (同社の経営品質推進本部 副本部長)

- 解説: 「TRIZ の基本思考と問題解決ツールとしての可能性」

澤口 学 氏 (産業能率大学) (TRIZ と VE の研究者・コンサルタント)

(c) 一般発表 (公募による): 16 件 (国内 10 件、海外 6 件)。

発表 30 分+質疑 10 分。全員への発表の場合と、2 会場並行の場合があります。

TRIZ の推進活動、適用方法、適用事例、他の技法との統合、教育など。

スライドは日・英同時並行投影の予定。

(d) ポスター発表 (公募による): 現在 12 件 (6 月末に追加発表 1 件を受け付けました)。

2 セッション、各 80 分。各セッション 6 件が並行して発表。

壁面・ボードなどに発表スライドを印刷して貼り、展示・デモもできる。

最初に 15~20 分の発表と 5 分程度の質疑応答。以後、臨機応変に説明と質疑応答。

参加者はいろいろなポスター発表を随意に見て/聞いて回ることができる。

なお、事前に全員の前で簡単に紹介するセッションをもつ。
ポスターは3日間掲示しておく予定です。

- (e) ベンダー他によるデモ・展示： 休憩時間、ポスター発表時間などで随時に。
- (f) 交流会： 初日の夕食後にカクテル・パーティを行います。自由に交流下さい。
第2日夕食後には、**ホールで丸テーブルを囲んで**、自由な討論を行ないます。
テーマの提案があれば歓迎します。
- (g) Proceedings： 概要版： 全発表の概要（各1ページ）を集めたもの。
詳細版： 発表スライドまたは論文（各発表者がどちらかを選択する）を
印刷して、当日、参加者に配布する。
（また一部は、後日 Web サイトなどに掲載予定）
英文版： 海外参加者には、英文の概要版と詳細版を配布する。

3. 会場とそのアクセス

会場： 大阪府吹田市 パナヒルズ大阪（松下電器健康保健組合の保養所）
565-0802 大阪府吹田市青葉丘南 10-1 Tel. 06-6877-0111
<http://www.mhio.panasonic.co.jp/hoyou/hoyousyo.htm>

アクセス： (a) JR 「茨木駅」（京都線、新大阪から快速で1駅）下車、タクシー 7～8分。
新幹線からの利用、関西国際空港からの利用に便利です。

(b) 大阪モノレール 「宇野辺駅」 下車、徒歩 約 5分
大阪（伊丹）空港からモノレールに乗ると 20分程度で着きます。
[朝・夕には宇野辺駅とパナヒルズに無料のシャトルバスあり。20分間隔]
地図は上記の Web サイトから参照下さい。

4. 参加申込み要領： （詳細は別紙 4 参照）

定員 約 130 名、先着順。 [会議場は 200 名余収容]
参加費： 全日参加（2泊3日） 57,750 円（税込み）
[宿泊は相部屋の場合の金額です。シンポジウム期間中の食事代を含む。]
[注意： ツイン洋室の一人使用は 4200 円/日の増額。
詳細は別紙を参照し、計画を記入の上問い合わせ下さい。]
支払い方法： 事前に請求書・銀行振込、または当日現金払い

申込み方法： 別紙 4 に記入の上、Email 添付 または FAX で送付。

申込み先： 日本 TRIZ 協議会事務局 担当 SKI 堀田政利
Email: info@triz-jp.com または FAX: 03-5777-8818

申込み締切： 8月17日（木）12:00 [ただし、発表者の申込みは 7月31日（月）18:00]
以上